

令和7年度 鬼柳小学校教職員 働き方改革アクションプラン

～生き生きと働ける職場づくりを目指して～

鬼柳小学校では、「北上市教職員働き方改革プラン(R7～9年度版)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

1 現 状

〔定量的現状〕

◆ 「北上市教職員働き方改革プラン(R7～9年度版)」目標達成状況について
「時間外在校等時間(週休日等の部活動従事時間を含む)が月45時間以上の者を前年度実績より減少させる。」

・R7年度目標:人(R6年度6人)

「時間外在校等時間が月80時間以上の者をゼロにする。」

・R7年度目標:0人(R6年度:1人)

〔定性的現状〕

○ 教職員の意識

・当校で推進するノー残業デーの取組の全教職員への周知
・時間外勤務している教職員が固定化

○ 管理職のマネジメント

・新たな業務が発生した際、スクラップアンドビルドの視点を持って業務見直し等の対応を行うように努めている。
・時間外勤務をしている教員との面談を実施している。

2 目標・目指す姿

<R7年度目標>

○ 「北上市教職員働き方改革プラン(R7～9年度版)」に掲げるR7年度の目標を達成します。

○ 本校に勤務する先生方の困り感に耳を傾け、笑顔が増える職場づくりを目指します。

<目指す姿>

・ こどもたちへの質の高い教育を持続的に提供し得る観点から働き方の見直しが図られている。

・ 業務改善について、教員から積極的に提案がなされている。

・ 働き方改革に係る課題について、学校全体で共有し、その解決を図る場が定期的に設定されている。

・ 管理職が日頃から、教職員の業務量の把握をする。

・ 教職員が、休憩の時間を十分に確保できている。

・ 教職員がいきいきとやりがいをもって、子どもたちに向き合うことができている。

3 (2を達成していくための) 具体的取組内容

○ 教職員の健康管理

- ・ 働き方改革プランの取組を確実に実施し、教職員の健康を確保します。
- ・ 保護者・地域等の対応の在り方について検討・改善します。
- ・ 管理職が、ワークライフバランスについて積極的に声掛けをします。
- ・ 月の途中で月の時間外在校等時間が45時間超となった教職員に対して、当該時間を知らせます。80時間を超えた教職員に対しては健康確保の観点から面談をします。
- ・ 健康相談事業等、職員の状況に応じ、共済保健事業についての活用を促進します。

○ 学校における業務改善の推進

- ・ 行事に向け効率的な取り組み方ができるよう検討します。
- ・ 管理職が、時間外勤務の弊害について積極的に周知します。
- ・ 安全衛生委員会を実施することにより、定期的に学校における働き方の取組状況を振り返る場を設定します。
- ・ 学校行事については、安易にコロナ禍前に戻すことなく、教育において必要な観点から業務の見直しを進めます。
- ・ 緊急な事や必要なことはメールを使い周知を行います。
- ・ 職員会議や各種会議ではペーパーレスにより合理化を図ります。
- ・ 電話対応を7時半から17時半までとします。

○ 学校及び教員が担う業務の明確化・適正化の推進

- ・ PTAや学校運営協議会とも協議をしながら、業務の明確化・適正化の推進を図ります
- ・ 登校指導や下校指導については地域の理解・協力を得て対応します。
- ・ 保護者宛文書や通信等、ICTの積極的活用を図り、働き方改革に向けた取組について、保護者の方に理解いただけるよう周知をします。

令和7年4月1日 鬼柳小学校長 佐藤 一成

(参考)「北上市教職員働き方改革プラン(R7～9年度版)」(抜粋)

【策定趣旨】

○ 働き方改革の実現により、未来を担う大切な子どもたちに、質の高い教育の持続的提供につなげる。

【プランの目標】市内小中学校の教員の時間外在校等時間の縮減

(1) 時間外在校等時間(週休日等の部活動従事時間を含む)が月45時間超の者を前年度実績より減少させる。

・ 令和6年度実績(6月調査) 228人 割合 42.0%